

# 安塚区地域協議会だより

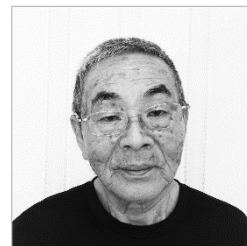
発行日：令和7年9月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 吉野 誠 一

第40号

## 《地域自治推進プロジェクトの論点》

安塚区地域協議会 会長 吉野誠一



市は「地域が自ら決め、自ら解決する」ことを念頭に置いた、新しい地域自治の仕組みと方策案について、なぜか非公開で説明しています。

「協働」の概念を柱にした画期的な内容ですが、問題点も少なくありません。一方的に押し切られないよう、用心深い議論が必要です。

地域協議会に関する変更は、①公募公選制の廃止、②任期の制限、③年額報酬（事実上の政治家費）の支給、④ビジョン策定の義務付けの4点です。

団体推薦委員による利益相反の懸念や、報酬の使途の透明化、公募者多数の場合の選任方法、御用協議会に陥る危険性、連続2期までに制限された任期の是非、ビジョン策定のノウハウ等々、地域の立場から詰めなければならない論点が散見されます。

案の段階とは言え、如何にも粗く品質が問われかねない中身です。地域協議会を使い勝手の良い道具にさせないためには、制度設計に参画する以外ないと思います。現在、その手立てを模索しているところです。

## 《【自主的審議事項】旧安塚中学校の利活用について》

安塚区地域協議会では現在、自主的審議事項として『旧安塚中学校の利活用について』を検討しています。

令和6年7月の地域協議会から具体的な検討を開始し、これまで

- ① 学びの多様化学校（不登校特例校）の設置
- ② やすづか学園の移転
- ③ 商業施設化
- ④ データセンターの誘致

などのアイデアが挙げられてきました。



このうち①の「学びの多様化学校（不登校特例校）の設置」に関しては、地域協議会が具体的な検討を始めようとした矢先の12月に、教育委員会から別の校舎を利用して開学する方針が示されたため、地域協議会での検討を取りやめました。

一方、②～④の案は現在も検討を続けていて、令和7年度はこれまでに、情報収集として『商業施設化』に係る先進地視察（4月）と『やすづか学園の移転』に関する運営スタッフとの意見交換（6月）を行いました。

なお、今後はデータセンターの誘致に関する情報収集と、地域の皆さんとの意見交換などを行いたいと話しています。

裏面へ⇒

## (1)「旧安塚中学校の利活用」の検討に伴う商業施設化の先進地視察（報告）

安塚区地域協議会では4月15日（火）に、廃校舎を商業施設として利活用した事例を見学するため、県内の2か所に先進地視察に行ってきました。

最初に訪れた十日町市の「雪原学舎」は冬期間限定のキャンプ場で、グラウンドでの雪中キャンプのほか、教室でのグランピングやカフェなども楽しめる施設でした。雪の中で過ごす雪国生活の疑似体験がテーマで、雪に馴染みのない方から地元の方まで、新しい冬の楽しみ方として広く利用されているそうです。

2つ目に訪れた長岡市の「和島トゥー・ル・モンド」は障害者就労の支援施設で、レストランとパン工房を運営していました。開設から13年経った今でも施設の収支は赤字ぎみとのことです。それでも地域の障害者を受け入れ、地域に貢献したいと、運営母体の支援を受けて続けているということでした。

どちらの施設も校舎をうまく利用した素晴らしい施設でしたが、古い校舎や設備を改修するには相応の制約があるようで、また、日常的な修繕にも多額の費用が掛かって苦勞しているとのことです。廃校を利用して安定的な経営を続けるのは、かなり大変なのだと感じました。（松野）

## (2)「旧安塚中学校の利活用」に係るやすづか学園との意見交換（報告）

安塚区地域協議会では、やすづか学園が旧安塚中学校へ移転してはどうかと考えてきました。それは、やすづか学園が使用している現在の校舎（旧菱里小学校）よりも旧安塚中学校のほうが比較的新しく、また、設備も充実していると思われるからです。このことから、地域協議会では6月18日（水）に、やすづか学園の現状と移転に対する意向の有無をお聞きしようと、一番の当事者であるやすづか学園のスタッフの皆さんと意見交換を行いました。

最初に利用者数や利用料金、子どもの実態、職員体制など、学園の概要をスタッフの説明により確認させていただき、続けてやすづか学園の皆さんが旧安塚中学校への移転を希望しているのかを率直に質問しました。

やすづか学園と運営母体である上越市社会福祉協議会では、学園のこれからの運営に対する総合的な判断が必要であることから、地域の理解を得ながら今後のよりよいビジョンを立てるため、運営委員会の設置を検討しています。校舎の移転も検討課題の一つになるので、現在は組織として、方針は出していないそうです。そのため地域協議会では、やすづか学園の移転に関する検討を一時的に休み、運営委員会で学園の旧安塚中学校への移転を希望された場合には、あらためて協議を再開することとしました。（山岸）

## 【あしがき】

この夏の前半は、連日の猛暑に加えて雨が全く降らない日が続き、上越市内多くの地域で節水が求められる日が続きました。安塚区内は節水対象となっ  
てはおりませんでした。節水意識が高まった方も多く居られたと思います。

これもひとつの「防災意識」ということかも知れませんが、日々の備えは忘れないようにしたいものです。（中村）